|  |  |
| --- | --- |
| 平成26年5月19日（月）  平成26年度　 第1回  大阪府河川整備審議会 | 資料  3-1 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）**

**新　旧　対　照　表**

**大　阪　府**

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 本文  P.12 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第2節　河川整備の現実と課題   1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題   記述無し | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第2節　河川整備の現実と課題   1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題   一方、東日本大震災を踏まえた南海トラフ巨大地震による被害を防止するための対策が急務となっており、寝屋川流域において想定される最大級の地震が発生した場合でも、河川堤防、水門、排水機場等の河川管理施設が保持すべき最低限の機能を確保することが求められていることから、耐震性能を満足しない施設において地震対策が必要となっています。 |
| 本文  P18 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標  大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略） | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標  (1)洪水対策  大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略） |
| 記述無し | (2)耐震対策  内陸直下型及び海溝型のL2地震動に対して、堤防については、早期に修復可能な損傷に留め、朔望平均満潮位または河川の平常時の最高水位以上の高さを確保することを目標とします。特に水門、排水機場等については、地震により被災すると復旧に長時間を要するため、地震後においても必要な機能を保持することを目標とします。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 本文  P22 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ５．河川整備計画の計画対象区間  本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。  なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ５．河川整備計画の計画対象区間  本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。  また、内陸直下型及び海溝型のL2地震動に対して河川管理施設の耐震性能を検証し、耐力が不足している区間において耐震対策を実施します。  なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 |
| 本文  P25 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項  第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要  １．治水施設の整備  これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。  今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項  第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要  １．治水施設の整備  これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。  今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。  また、河川管理施設の耐震対策として、液状化対策をはじめとする耐震補強工事を実施します。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 参考資料P.25 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第2節　河川整備の現実と課題   1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題   記述無し | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第2節　河川整備の現実と課題   1. 治水の現状と課題（2）治水の現状と課題   一方、東日本大震災を踏まえた南海トラフ巨大地震による被害を防止するための対策が急務となっており、寝屋川流域において想定される最大級の地震が発生した場合でも、河川堤防、水門、排水機場等の河川管理施設が保持すべき最低限の機能を確保することが求められていることから、耐震性能を満足しない施設において地震対策が必要となっています。 |
| 参考資料P.44 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標  大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・・（以下省略） | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ２．洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標  (1)洪水対策  大阪府域での今後20～30年程度で目指すべき当面の目標は、平成22年6月に策定した「今後の治水対策の進め方」に基づき、・・（以下省略） |
| 記述無し | (2)耐震対策  内陸直下型及び海溝型のL2地震動に対して、堤防については、早期に修復可能な損傷に留め、朔望平均満潮位または河川の平常時の最高水位以上の高さを確保することを目標とします。特に水門、排水機場等については、地震により被災すると復旧に長時間を要するため、地震後においても必要な機能を保持することを目標とします。 |

**淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画（変更案）　新旧対照表**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **項** | **旧（意見照会時点）** | **新** |
| 参考資料P.55 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ５．河川整備計画の計画対象区間  本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。  なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 | 第1章　河川整備計画の目標に関する事項  第4節　河川整備の目標  ５．河川整備計画の計画対象区間  本整備計画の計画対象は、淀川水系寝屋川ブロック内の全ての一級河川とし、そのうち計画的に治水整備や河川環境改善の取組みを実施する区間を図1．8の整備対象区間及び表1.3の整備対象区間一覧に示します。  また、内陸直下型及び海溝型のL2地震動に対して河川管理施設の耐震性能を検証し、耐力が不足している区間において耐震対策を実施します。  なお、河川の維持管理はブロック内の全区間で行うこととします。 |
| 参考資料P.57 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項  第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要  １．治水施設の整備  これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。  今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。 | 第2章　河川の整備の実施に関する事項  第1節　河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川の工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要  １．治水施設の整備  これまで、寝屋川や恩智川などの河川改修、城北川などの分水路、恩智川治水緑地などの遊水地の整備とともに、地下河川や流域調節池の整備を行ってきました。  今後は、時間雨量50㎜程度の降雨による床下浸水を防ぐため、（中略）恩智川治水緑地の越流堤の切り下げなどの整備を行います。  また、河川管理施設の耐震対策として、液状化対策をはじめとする耐震補強工事を実施します。 |